

施設案内図



安城市環境クリーンセンター
し尿処理施設

安城市環境クリーンセンター し尿処理施設

〒444-1221 愛知県安城市和泉町大下 38 番地
TEL/0566-92-0178 FAX/0566-92-0405

事業主体



安城市

〒446-8501 愛知県安城市桜町 18 番 23 号
TEL/0566-76-1111 FAX/0566-76-1112

施工監理



〒460-0003 愛知県名古屋市中区錦一丁目 8 番 6 号
TEL/052-232-6046 FAX/052-221-7832

設計・施工



〒661-8567 兵庫県尼崎市浜一丁目 1 番 1 号
TEL/06-6470-5000 FAX/06-6470-5929

自然環境との調和をはかり、環境保全に万全を期した施設です。

施設の特徴

汚泥再生処理センターへの改造

昭和 62 年 3 月に稼働した安城市環境クリーンセンターは、し尿処理施設の建物を利用し、プラント設備の更新等を行いながら、新しい処理方式を導入した汚泥再生処理センターとして生まれ変わりました。

脱水汚泥の助燃剤化

脱水汚泥は、最新鋭の高性能脱水機により含水率を 70%以下にして助燃剤化され、環境クリーンセンターの焼却施設の助燃剤として有効活用を図ります。

環境にやさしい施設

処理工程で発生する臭気は、薬品洗浄と活性炭吸着方式を組み合わせることで万全な臭気対策を行っています。

施設概要

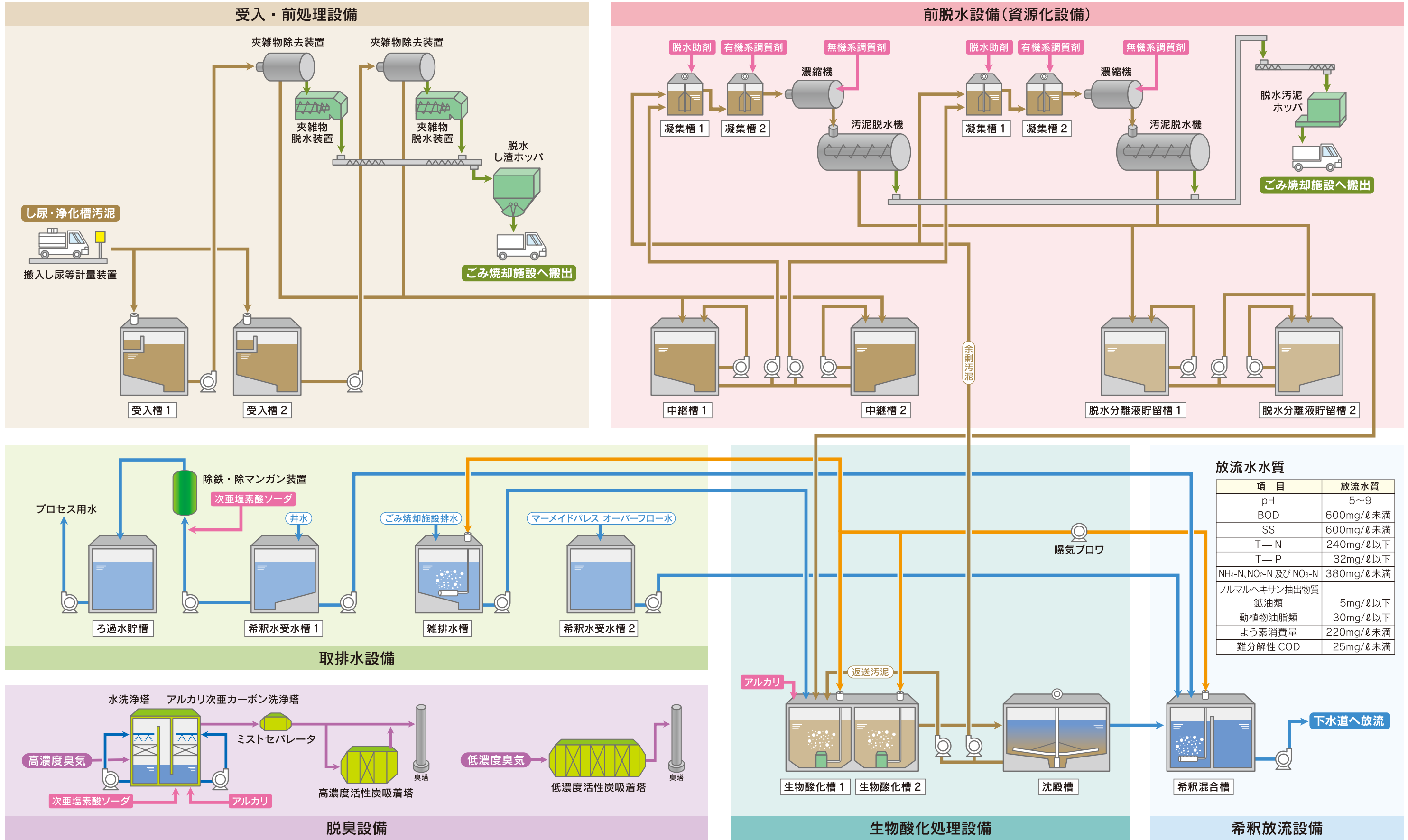
- 施 設 名 称：安城市環境クリーンセンターし尿処理施設
- 所 在 地：愛知県安城市和泉町天下 38 番地
- 敷 地 面 積：48,573.94m²
- 建 築 面 積：2,756m²
- 延 床 面 積：4,541m²
- 処 理 能 力：102 kl／日
(し尿 7 kl／日、浄化槽汚泥 95 kl／日)
- 水 処 理 方 式：前処理・前脱水方式+生物酸化処理方式
(下水道放流)
- 資 源 化 方 式：助燃剤化
(環境クリーンセンター内の焼却施設で有効利用)
- 工 期：平成 27 年 6 月～平成 29 年 2 月

施設配置図



し尿と浄化槽汚泥は破碎・脱水し、その脱水分離液を希釈して下水道に放流します。
脱水した汚泥は、助燃剤として焼却施設で再利用します。

処理フローシート



受入から下水道放流まで、水処理設備の適切な運営・管理に努めます。

主な設備

受入・前処理設備

し尿・浄化槽汚泥は、受入室内の受入口から投入され、砂・小石等を除去し、さらに夾雑物除去装置によりし渣を除去した後に貯留します。し渣は、夾雑物脱水装置で脱水した後、場外搬出されます。し渣を除去したし尿・浄化槽汚泥は前脱水設備へ送られます。



■搬入し尿等計量装置



■受入室



■夾雑物除去装置



■夾雑物脱水装置

前脱水設備（資源化設備）

除渣後のし尿と浄化槽汚泥を、中継槽から投入ポンプで凝集槽に送ります。その後、濃縮機、汚泥脱水機で助燃剤の条件となる含水率70%以下まで脱水することにより、汚泥を減量化および助燃剤化します。脱水ろ液は脱水分離液貯留槽に、助燃剤は脱水汚泥ホツパへ移送されます。



■濃縮機



■脱水汚泥ホツパ



■脱水機



助燃剤

生物酸化処理設備

微生物の酸化作用により、難分解性 COD の除去をします。前脱水からの分離液は、返送汚泥などとともに混合・曝気されます。この際、微生物たちの働きを最大限に高めるため、槽内の状態はコンピュータによって監視されています。



■生物酸化槽(上部)



■沈殿槽(上部)

脱臭設備

施設で発生する臭気は、吸引・捕集して、外部はもちろん場内にも拡散しないようにしています。捕集された臭気は臭いの強さに合わせて、薬品洗浄、活性炭吸着処理を組み合わせることで効率的に処理を行い、大気に放出しています。



■水洗浄塔・アルカリ次亜カーボン洗浄塔



■活性炭吸着塔

中央監視



■中央監視室

中央監視室では、全ての設備を集中監視しています。監視画面には各機器の状態が表示され、各設備の運転状況などが監視されています。

水質試験



■水質試験室

放流水の水質分析を行い、安定した処理が行われているか、確認します。